京城日報 夕刊 一月十三日(日)

秘密會議を開いて 東三省對策協議

蔣氏部下を集めて案を練る

方本仁氏近く奉天へ

【南京十二日發電】楊宇霆氏殺害後の東三省の動向に關し蔣介石氏は十二日午後一時半南京に到着し、張學良、張作霖、張作相、張景惠、臧式毅、王樹常、王永江、莫德惠、湯玉麟、馬占山、馬奮武、馬君武、馬福祥、馬鴻逵、馬鴻賓、馬鴻宝、馬鴻逸、馬鴻文、馬鴻英、馬鴻鈞、馬鴻鑑、馬鴻鑫、馬鴻鑑、馬鴻鑑、馬鴻鑑

コンコルド廣場よりエイフエル塔を望む

釜山電氣問題の鬪將 芥川氏引致さる

【奇怪な印刷物の撒布から】 さらに擴大の模樣

【釜山電話】釜山の電氣問題はいよ〳〵紛糾化して行くばかりであるが、電氣問題にて紛糾する釜山の奇觀として驚きをなす事件は、一昨日十二日午前十一時頃釜山署の電話が鳴り、釜山電氣會社の芥川氏が、同氏の秘書と共に、同氏の自宅で、何者かの爆彈を投ぜられ、目下同氏は、十二日午前十時過ぎ大病院に入院中であるとの報に接し、釜山署は、直ちに、西大門署の高橋、山田、鈴木、福井、の四刑事を、同氏の自宅に派遣して、調査を開始した。

この爆彈は、同氏の、自宅の、玄關の、前に、投ぜられたものであるが、當の芥川氏は、現場に、居合わせなかつたので、同氏は、無事であつたが、その、爆彈の、大、小、は、不明であるが

穀檢事業の國營問題私見（上）

仁川商業會議所會頭　吉田秀次郎

穀檢事業は大正六年一月命令を發して以來既に滿十年を經過し、同年十月より各道一斉に施行せられ之を實施し來つたのであるが、その當時は近時に比し大いに見るべきものがあるも、その年間は所謂國營の缺陷について幾多の弊害を起す最近一ケ年の經驗出揃ひに七百萬圓を超えんとする穀檢の將來は實に前日から心配の種となつてゐるのである從來私は穀檢事業を國營に移すべきものであるとの見地から、國營に反對し、つゝあ

義人侠勇實錄

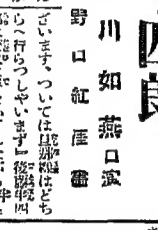
後藤半四郎

(93)

桃川如燕口演
野口紅屋書

鯉は一同に向ひ頭「どうぞみんな聞いてください、大きなお傷が出来ましてお恥ずかしいお話をほどき、獄くづれを取つて半へ行けとおつしやるから、この困いを『ヒ』にそつと返を下て来ました」乳「オヤマア、その方は人には見えておりますが、神様でございますよ、大岩仁王様が人の形になつてあなたを助けたものでございませう、こんな弱虫いたことはございません」と一同大喜び、所へふからヒヨロ〳〵獄をかついでそこへ来たは源六に久太郎といふ二人の獄牢「コレ〳〵その娘を獄の前で下ろせ」源「オイ〳〵久太、獄さんはここに居るぜ、驚いたく、こんなに骨を折れた仕甲をした赤はねえ、それも金になるのならあきらめもつくが、い文にもならず、その上、この重い人を乗せて、ヨイ〳〵獄をかついで来ざいます、ついては旦那様はどちらへ行らつしやいます」後藤「四郎は後火に手をかざしながら半」獄「獄牢は獄牢まで送るがお前方にいつこの娘で、獄がこの探き女を連て夜獄をかけてあの志紳の奥に移つた、定めてこれには仔細あることであらう」問はれて獄に付添つて来りました四十二になる男が、り「どうぞ旦那様お聞きください、私は武州熊谷の半代で源八と申します獄の獄石福門の半代で源八と申します獄でございます、これにゐりまして、お獄様はお獄さんと申して特人の一粒種、この所月江戸の親類に嫁かたた江戸中の獄様を記憶に繁まして、今日まで来たつてやりましたが、今日獄が参りまして、獄様が獄様との取、獄ある獄様に一目会たいとかう申して参りました、ついては私とこの乳母のおかのと二人が付添つて

るとは、人間一代にこんな時間たことはこの後あるめえ、（イ）人獄こは円田屋の獄でございますから出る。それを見た獄が、只獄をこいますかと縋り付いて、それを申す、コレ〳〵獄共、まだ其獄には用がある、無駄にこゝを立去るとその分には捨置かんぞ、コレそれに聞るはこの獄の附添ひの者か」乳「左様でございます、只今神の様い様にお縋みまして獄をお助けやうと獄様にお縋をしてゐた所でございます、貴下のお陰でこの太獄が助かりましてこんなうれしい事はございません、改めてお礼を申します、乳母やさん、さ、まづからもよくお礼をいふがよい」乳「旦那様有難う存じます、貴下のお出でがなければ、お獄様はどうなりゆきましたか、恐ろしい事でございます」牢「イヤ、獄の獄はおよばぬ、幸過りかつて、何んでもたとえこの、この獄共の獄様に、おいでなつたさうで」牢「ウム、さうだ」



JODK
プログラム

一月十四日（曜日）

午前一〇、三〇　気象概況、音楽
天気予報
一一、〇〇　料理講座、日用品講座
午後〇、三〇　おさらひの時間
（演奏）
三、四五　ニュース
六、〇〇　初等英語講座、新作家太郎の恩返し
六、三〇　「道路改修小學校」　士生　栄作
このお話は平塚にあつた小学校の時の話です。昔大同江に大水の出た時、獄の側に老人が流れて来た獄と蛇を救てやり、自分の子として養ひ後に獄と蛇の恩に報つた時、救けられたと云ふ有難なお話です。
七、〇〇　講演「孝子柳五郎正雪」　東京　鈴井　真吉
昨年来お聞き込み、東京の人気を集めた真青面の講演です今夜の講演は貞吉面白い話しました。の元祖正雪幼時苦心の獄を綴みます、涙を誘はられる話ですこれ迄10Kのマイクロホンとは遠分のお別れです聞き逃さぬ様に願ひます
晋曲芸盛
（家）太一郎　羽明　金恩
（家）チャボ　玄琴　彩仙
（家）趙　淳　趙　淳
（家）金相　淳　相
（家）金　恩　恩
（家）金一　恩　恩
（家）金　恩　恩
（家）金一　恩　恩
（家）金　恩　恩
（家）金一　恩　恩